



www.rhopointinstruments.com

MFFTB90

最低造膜温度計

Minimum Film Forming MFFT Temperature Bar

塗料やコーティング剤の適切な塗布のために

最低造膜温度計MFFTB90は塗料やコーティング剤、ポリマー分散液、合成ラテックス、エマルションなどの最低造膜温度、白化点を評価することができます。

また、水系接着剤の合一温度やエポキシ系樹脂の最低硬化温度など、接着の最適化のテストも行うことができます。



乾燥空気をディヒューザーを通してパージし、ステージ上に流します。開閉式の上部カバーは熱と外気を遮断する役割があり、目視で行う本評価を均一なものにする役割があります。造膜点までカーソルバーを移動させると自動で造膜温度を計算します。

新しいMFFTには使いやすいタッチスクリーンやデジタル式のMFFT計算・表示機能が内蔵されています。オプションのラベルプリンターに出力することも可能です。これらの機能の追加により、より使いやすく、正確な結果を得ることが可能となりました。



樹脂



接着剤



塗料

Features



塗料&コーティング液

塗料やコーティング液の最低造膜温度は薄膜として基材上に塗布されたときに均一に合する最低の温度を意味します。

この温度を決定する標準の試験法はMFFTを使用することになっており、ASTM D2354やISO 2115に規定されています。当社の最低造膜温度計はこれらの規格に直接的に準拠しています。

接着剤

1液タイプの接着剤の最低造膜温度は塗料やコーティング液と同様の方法で試験ができます。2液混合タイプの接着剤はステージに敷いたアルミホイルなどの上に塗布することでクリーニングがより簡単になります。

2液混合タイプの接着剤は最低造膜温度は示しませんが最低硬化温度は評価可能です。スパチュラなどで塗布面を擦ることで判断します。

操作

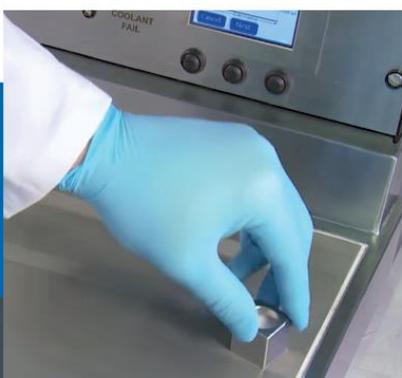
目的の温度プログラムを設定後、温度が安定化するまで待機します。キューブアプリケーションャーやバーコーターなどを使って液体サンプルをステージに塗布します。

塗布したサンプルが、乾燥・造膜した時点で目視ないしは接触試験にて造膜点を決定します。

温度プログラム

本装置は10個に分かれた温度プログラムがあり、プログラムを選択することで温度設定を行います。

プログラム	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
低温側(°C)	-10	-5	0	5	15	23	33	43	53	63
高温側(°C)	8	13	18	23	33	50	60	70	80	90



Specifications



ラベルプリンター
(オプション)

型番	MFFTB90
対応規格	ASTM D 2354, ISO 2115
ステージ寸法	483mm x 235mm (L x W)
空気	4 L/分 100 psig (0.69 MPa) 乾燥空気
水	必要圧：重力排水程度 流入温度：15度以下
電源	100 V 50/60 Hz
装置寸法	350mm x 550mm x 610mm (H x W x D)
重量	38 kg

アクセサリ

標準付属品	水配管用コネクタ 空気配管用コネクタ 交換用シリカゲル 75 μ mキューブアプリケーション 取扱説明書
オプション品	冷却水循環水層 機器への給水温度が、選択した範囲の低温側の目標温度よりも20°C以上高い場合に、チラーが必要です。例えばレンジ0、低温側-10°Cには、10°C以下の給水が必要です。これを供給できない場合は、チラーが必要です。 ラベルプリンター



注)本書に記載されている装置の外観や仕様は予告なく変更になる場合があります。

輸入販売元

三洋貿易株式会社 科学機器事業部

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-11
TEL : 03-3518-1194 FAX : 03-3518-1237
E-mail : info-si@sanyo-trading.co.jp
Web : www.sanyo-si.com

販売代理店